

●導入事例レポート

川越東高等学校様に、FXC製のL3スイッチ「FXC9432」、PoEスイッチ「FXC5224PE」をご導入頂きました。

川越東高等学校



川越東高等学校

江戸時代には城下町として栄え、別名「小江戸」と呼ばれる埼玉県川越市に川越東高等学校は校舎を構えています。

川越東高等学校は、約85,000㎡の広大な敷地に校舎、体育館、図書館、第1～3グラウンド、マルチコート、プール等の充実した設備を備えており、約1,400名の学生が“文武両道”をモットーに、日々仲間と心身を鍛錬しています。

川越東高等学校は、入学後、1年次は普通コースと理数コース(選抜クラス)でスタートし、2年次からは、理系文系に志望進路と習熟度を加味した「理数Ⅰ類」「普通理系」「理数Ⅱ類」「普通文系」の4つのコースに分かれて教育をされています。学校側の進学指導体制も充実しており、生徒は早い段階から受験を視野に入れることで、学力の着実な向上を図り、志望校に現役合格できる実力を身に付けています。

部活動では、勉強との両立という限られた時間の中で一人一人が高い意識と集中力を持って日々の練習に励んでいます。部活動終了後も、自主的に仲間と集まって勉強を教えあうこともあり、チームワークの向上にも繋がっています。

こうした“文武両道”の精神が、自ら学び、自ら夢を掴みにいく精神を作り上げています。

川越東高等学校

所在地:〒350-0011 埼玉県川越市久下戸6060

開校:昭和59年

生徒数:約1,400名

URL: <https://www.kawagoehigashi.ed.jp/>

導入背景

川越東高等学校では、校内の学習環境や利用環境を整える為、校内Wi-Fiを始めとするネットワーク環境を最新の設備に更新することとなりました。

今回の更改では、ネットワークの重要な役割を果たす基幹スイッチであるL3スイッチも合わせて整備することとなりました。

川越東高等学校は、5年前から生徒1人1人が、iPadを使用できるようICT教育にも力を注いでおられます。こうした取り組みを行う中で、デバイスも増加してゆき、管理を簡素化する為にも更改にあたっては、DHCPでの払い出しを行える製品が選定要件にありました。

そこで、パートナー様であるリコージャパン(株) 石井様が、製品を探す中で、FXC製品を検証頂き、問題なくDHCPの払い出しを行えた経緯から、今回FXCのL3スイッチ「FXC9432」と、PoEスイッチ「FXC5224PE」を導入頂くこととなりました。

選定のポイント

今回FXC製品を選定頂いたポイントについて、リコージャパン(株) 石井様に伺いました。

●製品面

- ▶L3スイッチから直接、DHCPの払い出しを行えたこと
- ▶コストパフォーマンスの高い機能が備わっていたこと

●営業サポート面

- ▶今まで納入したことのない環境下だったが、現場への同行などサポートが手厚かったこと
- ▶納入前の検証機貸出も期間延長など柔軟に対応してくれたこと

導入後の効果

導入後の様子について、川越東高等学校 森園様、リコージャパン(株) 石井様にお話をお聞きしました。
 FXC製品について、「導入から特に止まることもなく、安定した稼働をし続けている」とコメントを頂きました。

今回導入した「FXC9432」「FXC5224PE」は、生徒約1,400名が使用するネットワークを支える重要インフラの1つとなっています。今後もICT化が強まる中、デジタル教科書なども主流になる日も遠くありません。FXCでも機器の提供や営業サポート、技術を通じて川越東高等学校を支えてきたいと思っております。



サーバールームに設置された「FXC9432」

【導入製品】

28ポート 10/100/1000Mbps
 管理機能付ルーティングスイッチ
FXC9432 2台



24ポート 10/100/1000Mbps
 PoEギガイーサネットL2スイッチ
FXC5224PE 1台



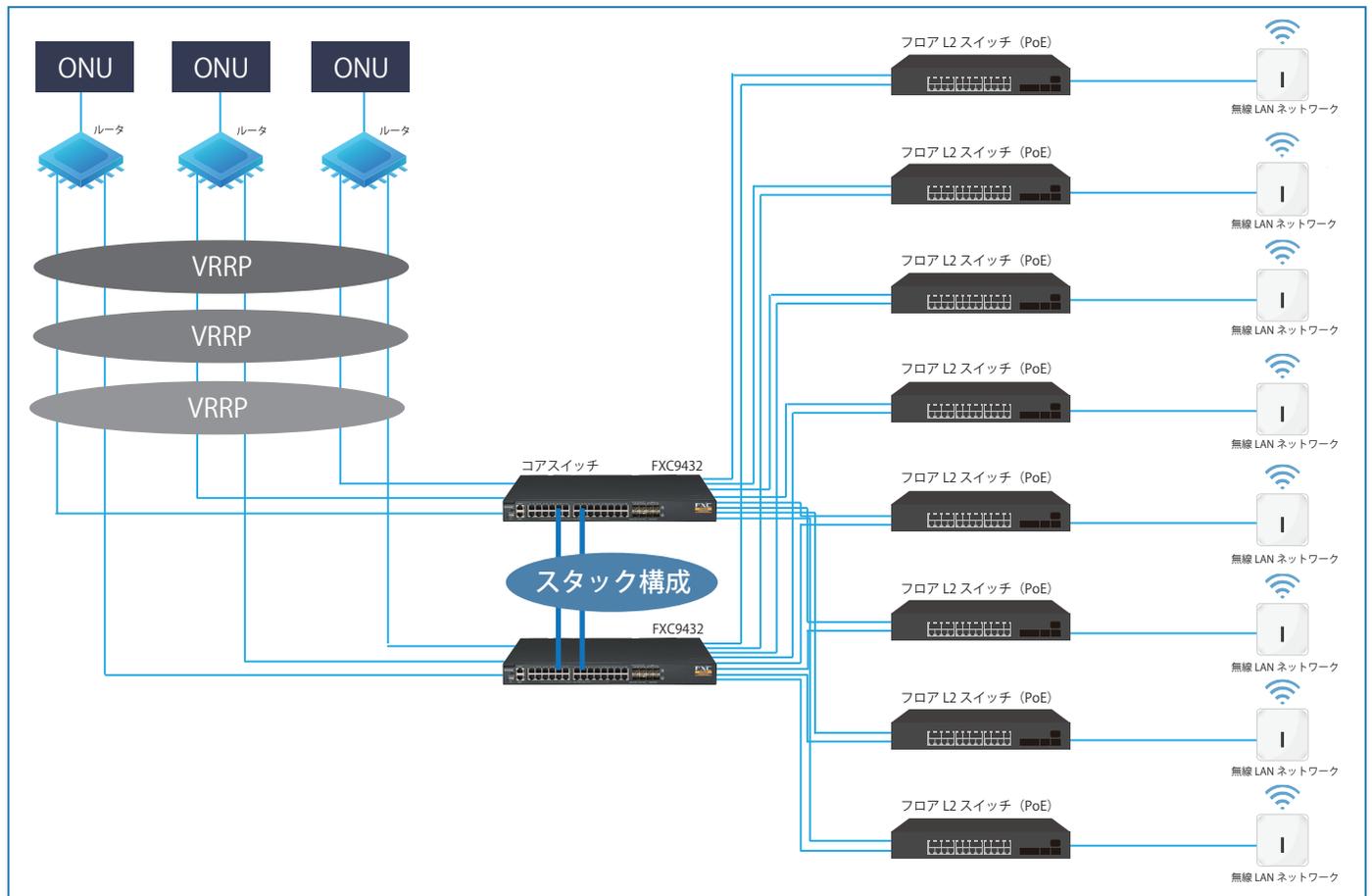
Giga SFP モジュール
MGB-SX 4台



SFP+ ダイレクトアタッチケーブル
SFP+10G-CU1M 2台



【ネットワーク構成図】



【ユーザー様】

川越東高等学校

川越東高等学校
 進路指導部長 教諭

森園 繁幸氏

【ご提案パートナー様】

リコージャパン株式会社

デジタルサービス営業本部 埼玉支社
 ソリューション第二営業部
 公共文教ソリューショングループ

石井 秀和氏

デジタルサービス技術本部
 デジタルインフラ事業部 基盤第二ソリューション部
 基盤ソリューション1グループ

齋藤 史記氏